学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	（学）世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合や世界史探究の内容の復習を行いながら、問題演習を中心に実践力を養って下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界史の基本的な事項を理解した上で、共通テストや私大の入試問題に対応しうる実力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史上の諸問題についての疑問を持ち、その疑問について考察したり、議論をする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
国際社会で活躍するために必要な、歴史を意欲的・主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代史を中心に世界の歴史についての基本的な知識を身につけ、世界の諸地域の歴史の流れと諸地域間の相互関係を理解する。また、その力を問題演習の中で発揮できる。	各時代・各地域の概観を深く思考し、現代世界の様々な課題を歴史的観点から、過去にさかのぼって考察し、その過程や結果を適切に理解し、文章などで表現することができる。 また、歴史資料を精読・考察し、そこから考えられることについて他の生徒と意見を交換することができる。またその力を問題演習の中で発揮することができる。	世界の歴史に関する関心を高め、意欲的・能動的に探求する態度を培い、それを通してグローバル化する世界で活躍する姿を考えることができる。 また、問題演習の結果を反省し、自らの理解度の高低や得意分野、苦手分野を分析し、後の学びに生かすことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	問題演習（古代～中世）	古代～中世までの復習を問題演習によって行う。	a: 古代～中世に至る歴史の流れ・諸地域間のつながりを意欲的に考察して理解している。 b: 同時代の各種資料をもとに時代背景・地域情勢などについての考察を深めることができる。また、時代背景などについて自ら説明をすることができる。 c: 学習した内容・取り組んだ問題演習の結果をもとに、自ら試行問題を作成したり、他人に説明することができる。	定期考査	考査 課題の提出	課題の提出 発表
2学期	問題演習（近世～近代）	近世～近代までの復習を問題演習によって行う。	a: 近世～近代に至る歴史の流れ・諸地域間のつながりを意欲的に考察して理解している。 b: 同時代の各種資料をもとに時代背景・地域情勢などについての考察を深めることができる。また、時代背景などについて自ら説明をすることができる。 c: 学習した内容・取り組んだ問題演習の結果をもとに、自ら試行問題を作成したり、他人に説明することができる。	定期考査	考査 課題の提出	課題の提出 発表
3学期	問題演	現代の復習を問題演習によって行う。	a:現代の歴史の流れ・諸地域間のつながりを意欲的に考察して理解している。	小テスト	課題の提出	課題の提出 発表

	習（現代）		b: 同時代の各種資料をもとに時代背景・地域情勢などについての考察を深めることができる。また、時代背景などについて自ら説明をすることができる。 c: 学習した内容・取り組んだ問題演習の結果をもとに、自ら試行問題を作成したり、他人に説明することができる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度